

2009年（平成21年）6月22日 月曜日

イオン初代駐米代表として88年に渡米して以来、ニューヨークに在住する磯貝正浩氏が12日、ニューヨークの日系人会館で「経営の要諦」をテーマに講演した。



85年にハーバードビジネススクールAMBA（管理職向けコース）を卒業。イオンとタルボットの取締役を経て、99年にイオンを定年退職。その後は国際経営戦略アドバイザー

をしている磯貝氏が次世代に向けたメッセージは「誠心誠意」だ。同氏は、企業倫理の

イオン初代駐米代表の磯貝氏  
ニューヨークで講演

### 「誠心誠意」を強調

欠如により多くの不祥事が発生したことに触れ、組織内を誠実の総和で充満させることを

提言した。「経営トップから第一線の従業員に至るまで、誠実を結集させる。中途半端ではなく、第一級の誠実に昇華させる」と強調。その例として「従業員の家族のことまでよく知る」「買収した企業をパートナーととらえ、買収された企業の社員を思いやる」「常に一段上の立場でモノを考える」を挙げた。また、「どの業種でも学ぶことがある。戦略の本質は共通する」と、特に外国の他産業の大企業から学ぶことの重要性を説いた。（ニューヨーク＝杉本佳子通信員）

主催：ABPS

(Alliance for Business Professional Services: [www.abps-us.org](http://www.abps-us.org))

ビジネスセミナーシリーズ、最終回第12回

タイトル：「経営の要諦」

～イオン初代駐米代表の経験から～

その経験を通し、若い人達へエールを贈る

開催日：2009年6月12日

会場：ニューヨーク市日系人会館